



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 株式会社 シマノ

上場取引所 東大

コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 島野 容三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 平田 義弘

TEL 072-223-3254

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日

平成24年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	123,559	15.3	21,877	43.5	21,691	58.9	15,247	120.8
23年12月期第2四半期	107,134	2.6	15,244	△11.8	13,654	△5.0	6,904	△28.2

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 16,198百万円 (76.1%) 23年12月期第2四半期 9,200百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	164.47	—
23年12月期第2四半期	73.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	227,472	191,248	83.8
23年12月期	216,000	181,774	83.9

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 190,613百万円 23年12月期 181,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	30.50	—	30.50	61.00
24年12月期	—	37.50	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 31円25銭

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	8.2	40,000	26.0	40,000	26.2	27,500	38.5	296.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	92,720,000 株	23年12月期	93,800,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	12,741 株	23年12月期	32,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	92,707,528 株	23年12月期2Q	93,768,240 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。
業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3 . 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、欧州ではフランス大統領選挙でのオランド氏勝利からギリシャ総選挙における緊縮財政反対派の抬頭による再選挙等が、欧州諸国の財政再建等の行方にも大きく影響を与えました。その結果、足元の景気見通しについても一層悲観的な観測が広がるところとなりました。

一方、国内におきましては、東日本大震災に伴う復興需要を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、為替相場が円高基調で推移したことや、電力供給不安など、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続く結果となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は123,559百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は21,877百万円（前年同期比43.5%増）、経常利益は21,691百万円（前年同期比58.9%増）、四半期純利益は15,247百万円（前年同期比120.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自転車部品

主力市場である欧州では、春先以降、天候不順に見舞われたものの、小売店では昨年並みの販売を維持することができました。また、北米では暖冬と安定した春の天候により、販売は例年以上に好調な推移となりました。新興市場では、昨年来大きく伸びた中国のスポーツタイプ自転車需要が、今年も力強い成長を継続しています。加えて、東南アジア、南米においてもスポーツタイプ自転車の需要が急増しており、当社製品は各市場から大きな支持を頂いております。一方、日本では、厳しい冬の影響を受けた低迷から脱することができないまま、小売店販売は低調に推移しました。

なお、欧米および中国における市場在庫は適正なレベルを維持しています。

このような状況のもと、当社からの出荷はほぼ予定どおり進み、マウンテンバイクコンポーネントの「SLX」やロードバイクコンポーネントの「SORA」、「Tourney A070」をはじめとする新製品の販売も順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は98,005百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益は20,352百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

釣具

国内市場では、例年になく大雪と寒波の影響で動きの鈍いスタートとなる一方、6月には8年ぶりに日本列島に上陸した台風などの天候不順も重なり、例年にも増して厳しい販売環境が続きました。

しかしながら、当社製品は、引き続き電動リール「Force Master」が好調な販売を推移するとともに、高級スピニングリール「Vanquish」やベイトキャスティングリール「ANTARES」などを中心とした新製品の受注も堅調に推移しました。また、ロッドにおいても新製品の船竿などが売上を伸ばしました。その結果、昨年同期を上回る売上高を上げることができました。

一方、海外市場では、欧州での販売が、政府債務問題の影響による景気後退観測から先行き不透明感が一層強まり、引き続き厳しい状況が続きました。しかしながら、北米市場で春先の好天が好受注に繋がったことや豪州市場での販売活動が奏功して、昨年同期を上回る売上高を上げることができました。

この結果、当セグメントの売上高は25,323百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は1,596百万円（前年同期比57.3%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は230百万円（前年同期比27.2%減）、営業損失は72百万円（前年同期は営業損失119百万円）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は227,472百万円(前連結会計年度比11,472百万円の増加)となりました。これは、商品及び製品が3,870百万円、建設仮勘定が3,845百万円、仕掛品が1,539百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は36,223百万円(前連結会計年度比1,997百万円の増加)となりました。これは、買掛金が2,131百万円、未払法人税等が1,546百万円増加し、短期借入金1,443百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は191,248百万円(前連結会計年度比9,474百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が8,447百万円増加したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、83,130百万円(前連結会計年度比4,581百万円の増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、18,277百万円の収入(前年同期は13,264百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益21,437百万円、減価償却費4,798百万円等によるものです。また主な支出要因はたな卸資産の増減額5,258百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,559百万円の支出(前年同期は2,372百万円の支出)となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出7,961百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,046百万円の支出(前年同期は1,612百万円の収入)となりました。主な支出要因は自己株式の取得による支出3,861百万円、配当金の支払額2,859百万円等によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、ギリシャに始まる政府債務問題が南欧諸国に飛び火する中で依然として回復の道筋が見えない欧州全域の景況観は停滞色を強めるところとなり、その影響を受けた新興国の経済成長の鈍化が懸念される状況となっています。

また、国内におきましては、東日本大震災に伴う復興需要により緩やかな景気回復の動きが期待されるものの、電力の供給事情や円高の進行による輸出競争力の低下など、予断を許さない状況が続くものと予測されます。

このような環境のなか、当社グループは、国内外の経済動向を注視しつつ、経営効率の更なる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成24年4月24日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、売上高240,000百万円、営業利益40,000百万円、経常利益40,000百万円、当期純利益27,500百万円とさせていただきます。

なお、平成24年2月8日に公表いたしましたとおり、当連結会計年度より、連結子会社27社の事業年度末日を従来の11月30日から12月31日へ変更いたしました。これにより当第2四半期連結累計期間は7ヶ月としております。この結果、売上高2,858百万円、営業利益1,591百万円、経常利益1,719百万円、税金等調整前四半期純利益1,719百万円それぞれ増加いたしました。

また、当社グループは株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており安定的な価値の維持・継続とともに実績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき今回の中間配当金につきましては、前年同期から7円増配の1株当たり37円50銭(うち特別配当31円25銭)とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても前期から14円増配の1株当たり75円を予定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,252	83,660
受取手形及び売掛金	25,189	25,665
商品及び製品	19,269	23,139
仕掛品	14,971	16,511
原材料及び貯蔵品	4,419	4,267
繰延税金資産	1,878	2,167
その他	3,168	3,035
貸倒引当金	306	233
流動資産合計	150,842	158,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,046	16,656
機械装置及び運搬具(純額)	11,031	11,383
土地	11,152	11,157
リース資産(純額)	47	33
建設仮勘定	3,733	7,579
その他(純額)	3,784	3,791
有形固定資産合計	46,797	50,601
無形固定資産		
のれん	3,737	3,590
ソフトウェア	1,610	1,386
その他	2,758	2,879
無形固定資産合計	8,106	7,857
投資その他の資産		
投資有価証券	6,714	7,515
繰延税金資産	1,472	1,379
その他	2,554	2,409
貸倒引当金	488	504
投資その他の資産合計	10,253	10,800
固定資産合計	65,157	69,259
資産合計	216,000	227,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,750	9,882
短期借入金	4,136	2,693
未払法人税等	3,608	5,154
繰延税金負債	298	232
賞与引当金	1,217	1,097
役員賞与引当金	161	82
その他	9,631	10,756
流動負債合計	26,803	29,898
固定負債		
長期借入金	2,928	2,181
繰延税金負債	784	801
退職給付引当金	2,425	2,523
役員退職慰労引当金	1,130	-
その他	152	818
固定負債合計	7,422	6,324
負債合計	34,225	36,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,822	5,822
利益剰余金	159,597	168,045
自己株式	124	45
株主資本合計	200,908	209,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	256
為替換算調整勘定	19,767	19,078
その他の包括利益累計額合計	19,719	18,822
少数株主持分	584	635
純資産合計	181,774	191,248
負債純資産合計	216,000	227,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	107,134	123,559
売上原価	68,966	76,931
売上総利益	38,167	46,628
販売費及び一般管理費	22,923	24,751
営業利益	15,244	21,877
営業外収益		
受取利息	316	426
受取配当金	465	264
その他	206	347
営業外収益合計	989	1,038
営業外費用		
支払利息	119	174
為替差損	1,617	813
その他	841	235
営業外費用合計	2,578	1,224
経常利益	13,654	21,691
特別損失		
投資有価証券評価損	1,337	-
工場建替関連費用	369	254
特別損失合計	1,706	254
税金等調整前四半期純利益	11,948	21,437
法人税、住民税及び事業税	4,985	6,532
法人税等調整額	20	395
法人税等合計	5,006	6,136
少数株主損益調整前四半期純利益	6,942	15,300
少数株主利益	37	52
四半期純利益	6,904	15,247

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,942	15,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	597	208
為替換算調整勘定	1,660	688
その他の包括利益合計	2,258	897
四半期包括利益	9,200	16,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,173	16,144
少数株主に係る四半期包括利益	26	53

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,948	21,437
減価償却費	5,040	4,798
受取利息及び受取配当金	782	691
支払利息	119	174
売上債権の増減額(は増加)	1,695	463
たな卸資産の増減額(は増加)	1,145	5,258
仕入債務の増減額(は減少)	219	2,087
投資有価証券評価損益(は益)	1,337	-
有形固定資産除売却損益(は益)	191	75
未払賞与の増減額(は減少)	1,417	1,437
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	85	1,130
その他	210	282
小計	19,899	22,748
利息及び配当金の受取額	799	718
利息の支払額	120	171
法人税等の支払額	7,313	5,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,264	18,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,618	419
定期預金の払戻による収入	7,593	3,513
有形固定資産の取得による支出	5,496	7,961
無形固定資産の取得による支出	316	471
投資有価証券の取得による支出	-	300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	404	-
その他	129	79
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,372	5,559
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	526	1,583
長期借入金の返済による支出	27	736
長期借入れによる収入	4,054	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	13	4
自己株式の取得による支出	0	3,861
配当金の支払額	2,857	2,859
少数株主への配当金の支払額	69	-
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,612	9,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,219	910
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	13,724	4,581
現金及び現金同等物の期首残高	65,107	78,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,831	83,130

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等
【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,262	22,554	316	107,134	-	107,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	84,262	22,554	316	107,134	-	107,134
セグメント利益又は損失()	14,348	1,015	119	15,244	-	15,244

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	98,005	25,323	230	123,559	-	123,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	98,005	25,323	230	123,559	-	123,559
セグメント利益又は損失()	20,352	1,596	72	21,877	-	21,877

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年1月17日開催の取締役会決議に基づき、平成24年1月18日に自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が3,858百万円増加しております。

また、平成24年2月8日開催の取締役会決議に基づき、平成24年2月13日に自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が3,939百万円減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が45百万円となっております。